

第23回 運営協議会（その他）

日時：令和2年12月11日（金）18:30～

場所：天理市役所 4階特別会議室

出席者：首長9人、組合事務局7名

管理者：一点、奈良モデルについてなんですけども、先週[]から私の所に[]から突然電話がかかって参りまして、どうしたんですかという話をいたしますと、[]から[]に指摘があったと。その[]からの指摘事項というのが自分のところに下りてきたという事で、現時点で県として正式に決定したわけではないという事は仰りながらなんですけれども、これまでも私共の組合はこれはよく国への要望の時とかに正に奈良モデルの象徴案件という事でご紹介をいただいている紙でありまして、事前の計画調査に関しては市町村負担額の2分の1、設備整備費に関する部分は起債償還額から交付税を差し引いた分の4分の1を補助する事によってこういった広域の取組みを県として後押ししていくんであると、こういう形で仰っていると・・・でありまして、その次のページというのはこれは2ページめくっていただいたら下に3ページと、左の所に3ページと書いてあるやつですけども、こういった資料も県さんの方で作っていただいて、これは大分建設コストについては古い時期に作られた試算なんで大分変わっておりますけれども、広域化によってコストが削減されるだけでなく、ここに奈良モデル補助金という形で、当時でも12億円というふうに記していただいていたわけでございます。ところが突然に[]から指摘があった中身というのは、借地であると、今回の施設が、で、借地であるという事について、県事業が全般にネガティブでらっしゃるのは私もかねてから聞いてはおりました。それは今本市で歴史芸術文化村っていうのを造っていただいておりますけど、それは私、地元で前の地権者[]でしたんで繋がしていただく時に、借地だったらやらないと。そのお考えとして仰っていたのは、[]の土地を[]の県のスポーツ施設の一带の所でも借りておると。それはまあご自身が就任されるずっと前からの話だけれども、その公共がそういった民間に且つ宗教施設にずっと賃料払い続けてるというのは有り方としてけしからんと思っていると、故に買うんじゃないかったらやりたくないというふうに言われた事がありました。その時にも他に仰ってたのは、[]の所に[]が昔借りてた土地もあって、ああいうのもよくないと思うというような事も仰っていた。多分今10市町村以外の色々な案件で県がやられる時にあれだけ土地の取得、買うなって事を仰ってるんで、根本思想としてずっとそれは持ち続けてらっしゃるのがあるんだと思います。ただその文化村の時に、今回のクリーンセンターちょうどやっていた時期だったので、私としては明確に、すみませんけどもこっちは借りるんですよという事は申し上げておたわけなんですけど、焼却施設の方は地権者[]という所もありますし、そんな借地なんだったら奈良モデルの補助金を出すのはまかりならんという事を[]に対しては仰ったという事で、それを伝えてこいという宿題が下りたそうでございます。そこに関しては私の方から何故借地なのかという事はご説明をさせていただきました。今更ながらでありますけども、縦に戻していただいて4ページでございます。これはですね、組合が地元の校区と自治会の小学校単位のもんでございますけども、と組み交わした協定書でございまして、これが地元理解をいただいたという根拠にしておるもんなんですけど、いの一番に出てくるのがとにかく永続的にそこにあるのはけしからんというのが非常に強く地元からあったもんですから、そこに関しては稼働

とかに言われてずっと金を流し続ける為にわざと借地にしたみたいな事をマスコミに流された事もありました。その時には地元が何故そこにこだわったのかっていう事も説明しまして打消しましたけど常にそんな話は出ておる中で、改めて紙を示してこういう地元が強行でそれが地権者に行って地権者としてもそれは板挟みにあつてこうなつてたんですっていう経緯ですとか、賃貸にあたっての鑑定書だったりっていうのは全部お見せしました。■■■■としてはいそりやもう分かった、それはもう筋が通つてる話やと思いますっていう事は言っていた。■■■■もその辺の事情改めて説明されて何も変な話じゃないっていう事は分かっていただいていると思います。が、■■■■も■■■■もそれをまだしっかりと報告できる状態ではないまま今止まってしまうというのが率直な所でございます。勿論これは10市町村との信頼関係っていう所もあるので、それを今から急にそれやったら出さへんみたいな事を言うと、奈良モデル自体の信頼性にも係わってくるっていう所も■■■■は非常によく分かっていただいていますし、■■■■とかがやられてる、■■■■についても一部地元自治会からの借地っていう所があるというふうに聞いてますので、同じ論理を言えばそっちも出さないという事になるわけなので、■■■■も■■■■も非常に困っておられるのは困っておられます。ひょっとしてそれが宗教施設だという所を仰る所があるのかもしれないですけど、税金も払っておられますんで、我々が払った賃料に基づいて。地権者が偶然宗教法人だったというだけでありまして、感情の点では宗教法人に公金を出すのはダメだというふうに思われる方も県民でいるかもしれませんが、であるならば文化村の用地を買う為に公金払うのも借りる為に公金払うのもこれは公金を1円も宗教には払ったらいかんちゅう事だと同じやと思いますんで、論理的な事ではないと思つてます。しかしそういうふうに非常に強いトーンで仰つたという事は言われましたので、今後我々の内どなたかが例えば年末挨拶に行かれるとか何かの時にそういう話が急に■■■■の方からあるかもしれませんが、これはやはり素直に情報共有はさせていただきますっていう事は■■■■には申し上げましたし、逆に出さへんと言われるから今から急に買い直す方に行くかという、それはズルいかもしれないですけど、早過ぎますと。この時にも回答書く時に途中でもし買うような事があつても撤去しますみたいな文書を実は入れてる所があるんです、11ページ。ただそれはこういう用地取得が喜ばれるような施設ならともかく、何とかここまでこぎつけてきたみたいな信頼関係が一番大事で、以前■■■■が入ってきたっていうふうに仰つた時にも、今まだできてませんと。完全にできて地元も完全に安心する状況になつて、尚且つ余裕があるような状態だったらその時には会話ができるかもしれないけれども、今まだ造りもしてない時になし崩しのようにどっかに入ってきていただくつてなつたら、必ず他にも入れるみたいな事になつてグチャグチャになっちゃいますっていうふうに言つた事と同じで、借りるから更新もないし安心して下さいって言つたのを、急にやっぱり都合悪いんで買わせて下さいっていう事を今のタイミングで言うというのは、天理市の立場から申し上げるといたしかねると。ほんまに出来きつてこれやったらええやんかと、地権者にとつてもこれ売つても地元からボロクソに言われるわけじゃないっていうような状況になつてりゃ、途中でそういう話もうまく運ばせればあるのかなと思つてんですけども、今急に借りるのはポリシーに合わないって言われましてもっていうのが率直な思いであります。

■■■■: 何で急に■■■■がそんな事を言い出しましたん、きっかけありますか。

管理者：それは誰にも分からないです。

：せやけど今管理者言うてくれてはるね、この話はも知ってはる話と違います、ほんま。

管理者：知らなかったらの方から突然にあそこは借りてんねんぞ、知ってんのかっていう感じの言い方にはならないはずなので、なりがここ借地なんですけどみたいな会話を例えば報告したり会議でこの奈良モデルの話が出てる中で、えっ借地なの、みたいな感じでなったというよりも、何かしら唐突にが呼ばれてあそこは借地なんやぞ、知ってんのかお前ら、みたいな感じで怒られはったというふうに聞いてますんで、だからその何がその突然ボンといった原因かというのは、率直に誰も分からないのが現実です。思い当たる事があるとするならば、これはもうだから事務局には出ていただいたんですけど、あくまで邪推かもしれませんがももそういう点はあるやろなというふうに思って今おいてはるのは、残念ながら今本市がコロナ対応をめぐる反抗的だったというふうに一方的に思われておりますので、そういう要素は非常に強く働いている可能性があるというのには推測としてありますが、ただそれで本市以外の9市町村の皆さんにも非常に大きな影響を与える事がテーブルの上に乗せられるとなると、それは非常に心外だなと思ってますし、別にうちは他の案件にしても何にしても県市の連携を大事じゃないと思ってるわけでは決してないので、ただ弁明上でじゃあ私がこういう説明でっていう事を申し上げて、論理的にこういう順番だったから今借りてるんでっていう事を申し上げても、冷静な会話にはならないだろうなというのは私、については一一致しております。

：天理市長には大変失礼にあたるかもしれませんが、恐らくそれが大きな要因なのかなと少し私も耳にしましたのであると思います。恐らくこういった形で論理的に持ってっても多分感情的な面が大きいので、例えば副管理者であるとかが少しやんわりとお話しなされた方がいいのかなと。

：せやけどこの話はもう既に奈良モデルとして公になってるものやもんな。

：ただ真正面からそれ理屈を言うと多分ますます反発されると。

局長：まだ今のところ、の話では正式決定事項ではないのでっていう話なので今ここで皆さんに管理者から話させていただいてますけれども。

管理者：或いは恐らく交わしてこいというふうに、例えばどなたかが交渉に行っていたとしても仰る可能性は高いかなと。天理がサボっとるんやと、交わしてこいというふうになった時になかなかその方に迷惑をかけるなというふうに思っております。ただこれはどう判断するかですけども、決定した事ではないという中でじゃあ来年度の奈良モデルの部分は一部予算はありますね。それがまずどうなっていくかっていう所はございます。一番重要なのは建設に係る部分です。今は奈良モデルと言っても微々たる額ですね。

：まだ額しれてますもんな。

管理者：今額しれてます。まだその計画とかになる部分、で、実際にこれが下りるのは令和7年度以降。償還時期です。起債償還額から交付税を差し引いた額の4分の1という事になってるので、令和7年度からになるという事は聞いてますので。

：償還がスタートした時にな。

管理者：そういう事になります。

：これせやけど我々かってもう議会議員になあ、・・・内訳から全て奈良モデルとしてというものの考え方でこれ資料があれして説明してるもんな。今更これちょっとのご機嫌が悪くてそんなアホな話これ、そんなんでできる道理もあらへんから。

：一点いいですか、に・・・あつたんですけど、10市町村みんなで行くっていうのも一つなのかなと。あのやっぱりコンセンサスみんなとってきてこれで・・・天理市長にも地道に地元も行っていただいて、僕らもこの方向でやろうとなってるのにの一番大事にされてるのは市町村の応援やって言ってる中で、10市町村がやっぱりこの計画しっかりとしていくという意思を示すっていうのも一つ大事な要素になるんじゃないかなと。そこは無視できひんやろと。今のスタンスずっときてる中の。

管理者：一旦ですね、今だからもういっぺん呼ばれるまでは静かにしてはるという状況なんです。ただあれどうなったっていう形できたら、うちの今のこの説明はせざるを得ないなっていう事は仰っていて、そうすると奈良モデル自体を県がグチャグチャにしてしまう事になるっていう懸念は伝えようと思ってるっていう事は仰っていただいているんですけども、他にも方法あるかもしれないですけど3つぐらい選択肢があるなと思ってました、私も。1つは今仰っていただいたように組合の全員ないしどなたかにお願いをする中で、組合メンバーとして再考というか今までこういう経緯がある事だからこれについては県市町村の信頼関係上というお話しをするという事です。ただまあ推測からすると、そこでよりエモーショナルになられる可能性も十分あるだろうし、もしの仰った事が要素としてあるならば、その時に私とガチンコである事はむしろそういうふうな感じにもっていかれる可能性もありますので、そうすると余計にグチャグチャになっちゃうなという懸念もございます。で、2点目としては国会筋なり県会筋にこういう状況だという事でおとりなしをお願いをし、まあそういう事をするとはやはり市町村と県と折角色んな件で、連系協力できるところがよくないんじゃないですかという事を仰っていただく、これも余計横から横槍で又チクったみたいな感じでお怒りになる可能性もあります。第3はこれは先輩方どう思われるかあれですけど、騒がずじっとしてると。つまり私がさっき申し上げた本当にこの金額が重要になってくるのは令和7年度以降でありますので、今あえてガチンコでヒートアップするような状況ではなく、もう出さんと怒られても玉が頭上を通り過ぎるのを静かに待ってるしかない。

：もうないわな。

：ない、なかったらそれも1つです。

管理者：ただまあこれは何とも言えませんし、率直な思いからするとこないだの水道サミットの時のが明日が我が身だったっていうのが私の偽らざる心境ではありますけども、しかし。

：はまあ色々事情があるやろうし。

：何でそんな話になるんかね。

：感情論。

：その前のも。

：かなんなあ。

管理者：うちだけの案件だったら、うちがうまい事やらずに勝手に虎の尾を踏んでしまったものしっぺ返していうだけでやむを得ざる所だっていう所もあるんですが、やはり9市町村にご迷惑をおかけするわけにはいきませんし、或いは変にでも表沙汰でワーッと喧嘩してるような雰囲気になると、折角落ち着いてる地元からすると、何か土地取得とかのやり方がおかしいんじゃないかみたいな感じで、返って波風が立つような所もあるかなという所を思うと、静かに無事に建設が出来ていく方を優先するというのもあるかなとは、或いはこういう状況ですという事はうちの選出の県会にはお話しをさせてもらいました、とには。の所はには申し上げます。あとだったり、そういう皆さんにも実はこういう問題があるっていう事だけは情報共有していただいて、ただし変に気を遣っていただいたらより決行される可能性もあるので、今は令和7年以降にきちんとそれは進むように問題を認識しておいていただくと。

：せやけど、我々としたらやっぱり地元との、奈良モデルとしてこれだけ大きな事業をやるんやという事で議会に対しても説明もしてるし、やっぱり議会議員もそういう認識もしてやるし、我々としたら・・・が国でもどこでもね、奈良モデル、奈良モデルで。

管理者：それをご自身で潰す事になる。

：あれだけ自分自身で国に呼ばれて公営的なものまでしてはる人やのに、そんな事されたら我々もちよっとそれ、話が違うやると、今更そんなんなあ。

管理者：冷静に話できればいいんですけどね、冷静になっていただけるんかな。

：恐らくあれやな、ほんなら代わりに行けやというけれど、行くいかんというよりもまず市長にそういう事を投げかけてはる中で、市町村長が代わりに行って聞く耳持

ちはらへん。あの性格からいうたら、それやったらちゃんと。

管理者：まだ私が行った方がマシでしょ。

：うん、そこまで言うんやったらみんなこの10市町村ちゃんと話つけてこいっていう宿題をもうて帰る。あの性格は一旦がガーっとなったらな、瞬間自動湯沸かし器でもう、な、何年か前のあの事件みたら、ガーっとなら残ってる時は何言うたってあかん。

：これそやけど下手に管理者言うてはるように、下手に動いていらん所に話がどんどん出るとそういう事になると、我々もたまらんし奈良モデルそのものもおかしなものになるし、そのものもおかしなものになってしまうから。

管理者：私はですよ、決して恨みもないお世話になったという思いしかありませんので、コロナの時でもこうした方がいいんじゃないかと申し上げたのが、要はお気に障ったという事でありまして。

：市長それではないの違いますか。

管理者：これがでもグチャグチャになったら、ほんとに奈良モデル自体が、も仰っていた、これが本人がいざとなったら言いますと仰ってたのは、じゃあ10何億の補助になるその奈良モデルの補助金がなかったら、この広域の事業ごと辞めますかっていうと基本的にはそれは辞められない、いずれにしたってなった時には結局どっちが信頼を失ってしまうかっていうと、県やと。それは自分はよう分かってんねんという事は仰られてるんで、これで何かもう県市町村グチャグチャみたいなんで周りが面白おかしく騒がれるっていうのは忸怩たる思いですね。

：よく分からないのは、借地という事がけしからんと言うてはるのか、の土地を借りるのがけしからんと言うてはるのか、それによっても中身はちょっと違って来る。

管理者：両方だと。借地がけしからんという思いが元々あり、だからやっぱりそのあらゆる案件について用地は取得すべきだっていう根本思想がある所に、この案件についてよりダメだというにあたって、宗教施設からっていう所が更に上乘せになると。

：それもあえて宗教法人やっていうのがなお気にいらんちゅうわけやな。

管理者：まあそうなのでしょうし、ご本人の中では一般人が聞いた時に利があるように聞こえるはずやという思いがおありなんだと思います。政教分離からしてもおかしいっていうような、ただそれはじゃあはあきませんのっていう事だったりとか、論理にはなっていないんですけど、ご本人の中では筋が通っちゃってるんで。

：恐らく又将来に亙り借地やったら土地所有者と又揉め事もあるやろうと、自分の土地にしとけば未来永劫その揉め事はないと、だからやっぱり借地やなしに買わんかいというの

が。

管理者：元々筋論として持ってらっしゃるのはあると思います。

：最近もの凄く土地にこだわってあります。実はうちも県道をつけてもらわなあかんとこ、それはもうつけやなっていう事は分かってはるんですよ、できるだけ早く頼んまっせっていうたら、そこの土地の所有者の承諾書を全部取ってきてくれと。そしたら一番優先的にそれやるわと。やらない困るんちゃうとこやから。

：せやけどこの場になってなあ。今更引くに引かれへん、みんな。

管理者：ですから、勿論組合としても借りるんだったら買った方がいいのか違うのかっていうのは、それは買った方がいいっていう部分は中長期的な財政的に見てもそうだと。しかし相手がいる、地元もいるという事になると、借りる事は違法でも何でもないわけだし、よりそりゃ買う方がよかったとしても今その選択肢を急にこれからの案件であれば勿論そりゃ買う方向で頑張ろうという事になると思いますが、我々もこの6年程散々地元とやってきた中で、今もう既に賃料も払い続けてる、もう始まっている事業ですから、それのみをもってダメと言われるのはいささか。

：だけどもうこれ定借でこだけの所は宜しくお願ひしたいと、この定借が終わったら他所へ持って行ってやという事で、まあ言えば。

管理者：保険なんです。地元との保険の形になってるという事です。

：50年先の事何て誰も知らん、誰もおらへんねんから当時交渉した相手方もいない。けれど、一応今の時点でこれで納得させてこの事業どの事業が進んできた、これをやっぱり悩みますわ。うちとこの・・・未来永劫ここですって事になりますやんか。

管理者：まあそういうふうにとられると。

：取られるわな当然の事ながらね。だから今この時点で買うっていう話地元には絶対できない話。

管理者：仰っていただいている通り。だから何遍も申しますけど、できて稼働して地元感情が劇的に変わってて、もう鉄板の安定した状況ですっていう事であれば、そこでユルユルと進めていったらいい話じゃないですかというのは、これまでもうちのなんかは買い派だったんで、言った事はあった。で、今まだ一番山高い所だからそれはその究極の選択として奈良モデルを取るが、地元との信頼関係を取るかって言われたら、私としては地元との信頼関係を取らざるを得ない。だからそう考えました時にもう暫くは静かにしようかなというふうには私は思っておるんですが。

：それがよろしい。話しに行けっていうんやったら俺は何ぼでものどこ行くよ、別に。

管理者：ですからそれはまあ例えばですね。

：喧嘩するぐらい何ぼでも喧嘩したるけどもやな。それで収まる話とちゃうわな。

管理者：例えば来年の時点で奈良モデルの予算をつけないと、それで表沙汰になるなりする、それで10市町村の議員さんも奈良モデルはこれでグチャグチャなるってどういう事やねんって、こうなってしまうような状況であれば、それはその場で怒られたとしても正々堂々それは論理的におかしいという事を申し上げに行かざるを得ないと思っておるんですが、現状は今まだ唐突に宿題下りていった段階なので、少し頭を冷やしていただく時間の為にもすぐにこっちから打って出ないでかなとは私も抗弁しないし刺激もしないようにじっとしてるといふふうに思っておるんですが。

：それじゃ市長はもう今は一切それについて説明も行かないし、頼みにも行かんと当面様子を見るよと、ただそしたら先程管理者から説明あった、例えばそれと、この辺はどういうふうに。当然どないなってるねんと。

管理者：先週の段階で。

：説明求められますわな、から。

管理者：その時ははこれと同じものを渡してるんで、自分としては何故借りてるか、借りてる原因を説明はすると仰っていただいた。それで分かってもらえるかという、まあもそこはもう何とも言えへんと。そこでどうしようかなあって言って、頭を抱えておられるというのが今の状況なんで、今日取り敢えず皆さん方に情報を共有させていただきましたっていう報告はを通じてさせていただきますし、お許しいただけるのであれば折を見て、だったり、その辺の国会筋にはやっぱりこの後々の事がありますんで、県から国に対しての要望書にもこう書いてたやんかという、ですから令和7年の時に見届けていっていただかないような人には今の時点からちゃんと言うとかんというふうには思っとるんですけど。

：実際国よりも国会議員も陳情に行ってますもんな。それ何やのんちゅう話やね。

管理者：いやだから絶句されると思う。

：元々奈良モデルっていうほんとにちゃんと継続的に補助もらえるのかっていう不安感みんな持ってましたんでね、が代われればなくなるよっていうような事を言う人もたくさんおられますし。

管理者：逆に言えば、なればこそやっぱりこのいい、県と市町村の連携関係を変えたらいかんという事で前回前々回いかにもひっくり返しそうな人にするわけにはいけないという事で、みんな纏まってたと思うんですよ。

■：そうですね。

管理者：それがこういう話になっちゃうとグチャグチャになっちゃうんで、県にとってよくないと。

■：せやからこれちょっと話横道それるけどね、今日の一般質問の中にも県営水道の話も出てるわけやん。何でも県単一化がええのかと。

管理者：その辺の信頼関係の所にも、勿論なってしまいますし。

■：俺もうそんな話なってきたらな、ちょっとこれ考えなあかんと、考えてもあれやけどそんな気持ちにもなるよな、これ。俺今日なそんなんな、人口減るよと、水道料金も減っていくそんな中で・・・ぼんぼん老朽化していくんや。1町では公益・・・としてはもう運営していかれへんと。そりやもう目に見えてるんやから、やっぱり今■が推奨してはるこれに加わっていくのが今の段階では一番妥当やというふうに俺説明してんのにさ。

管理者：そりや何でもやっぱりベースには信頼だと思いますんで、あの試算でも160ペースでいくかっていうと、恐らくあれよりは余る可能性はいっぱいあると。或いは雇用どうするか、或いは地元業者にちゃんと一定の工事が発注してもらえんのか、そういう事をこれから本来は詰めていってみんなが安心できる状態に持ってかないといけないだろうという時に。

■：この前もあんまりそんな話もせんかったけど、例えば老朽管の布設替え、あれもそうやんかうちは今基金持つとるから3、4年の間にできるだけ使ってしまえ言うてるけど、そやけどそんなん全てが全てできひんやんか。ほな今度・・・時にや、今日の一般質問でもこんな小さい町は後回しにされるんちゃうかと。

管理者：それは常にみんなが言います。だからそこに意思決定も今の■のように、中途半端な形だったら結局■と同じで、全然その意思決定加われへんやないかという話もあると思いますんで。

■：実際そんな話もやっぱり議会議員は質問として出てくるやんか、ほな俺かてやで、いやそれは仰る通りやと、しっかりと意見は申し上げますと、これしか言いようあれへん。全てそれでやな・・・にしても、何にしても・・・はこれは国の法律の改正やから当たり前の話やねんけど、そんなんでやってきてんのにやな、これにみんなそういう気持ちで取組んできてそういう議会で説明してるのにやで、これに関してお前ら何やって言われたら、逆から言うたら、あんた何言うてるねんと言わざるを得んような話になってしまう。

管理者：ですからそういうふうに次々と色々な話も亀裂が出てきてしまうのは、これ私が本当に反動的やというふうに思われてますけど、本当に反動的やとぶちまけますよ、これ。どないなってんねんみたいなんでギャーギャーやります。ただそういう事をして誰の為にもならない。他の案件にとってもよくないし、■ご自身にとって一番よくないと思います

ので、ここは因縁ふっかけられてるような気がしますけど、グッと堪えるしかない。

■■■■：忍耐。

■■■■：みんな一生懸命にええ話やと思ってさ、どっちにしろみんな地元の焼却場あかんからなあ。ええ話天理の市長言うてくれはったと無茶苦茶喜んで参加させてもうてるのにやで、いっぺんに嫌になるわ、こんなもん。

管理者：ですので、今はしっかりと入札仕切り直しになるというハプニングもありましたが、事業を着実に進めていくという事に集中して。

■■■■：そうしましょう、そうしましょう。

■■■■：もうそんでいいと思いますわ。

管理者：うちの地元との信頼関係を大事にせんといかんのだという事情は是非お汲み取りいただきたい。

■■■■：そりゃまあこんな嫌悪施設やからね、当たり前の話よ。そりゃ地元協力してくれるのはやっぱりなあ、絶対無視できひんもん。

管理者：よろしゅうございますか。なので情勢が変化したら又すぐにお知らせをいたしますし。

■■■■：コロナと一緒に、ちょっと鎮火するまで様子見しとかな。

■■■■：■■■■、そんな話がやっぱり実しやかに出てるのか。

■■■■：うーん、大変申し分けないですけど。

管理者：どうぞ自覚症状は十分あります。

■■■■：ちょっと関係がこじれてんちゃうかと。

■■■■：コロナで。

■■■■：コロナですね。

管理者：最初にうちで児童福祉施設をやった時ですわ。

■■■■：あのあれ、■■■■の対応の話。

管理者：そうです、そうです。それで申し上げに行った後に、今むしろ逆にその形に近くなった

と思うんですけど、今結構濃厚接触者でも市町村がPCRセンターとか持っていたら、保健所・・・自分達でパーっと検査の手配できるじゃないですか。当時全くできなかった時に、
も手一杯だったんで、もうほとんど接触者の調査だったりとか検査体制っていうのは回らなくて、議会も収まりがつかない、保護者も収まりがつかない、この状況が
より上に伝わってない、だから市長会の皆さんにもご相談して、その市長会の要望の中で県と市町村連携をコロナでもしっかりと是非やるべきだし、そこで情報共有もしながら保健所は手が回らない所があるとしたら、いくらでもこれは一緒に動かしていただくし、ただやっぱりこうある程度安心していただくにはその辺の検査の展開だったりスピーディーにしていってほしいという話をしにいったんですけども、県はしっかりやるべき事をやってると、それを騒ぎ立てるとは何だと、他の市長も巻き込んでこういう文句を言いに来るんだな、お前はとかですね、ちょっとそういうトーンになりまして、情報共有については先輩方も同じやと思いますが、来ないわけですね全く。都道府県によってはある所もあったわけです。これはないと先手の休校とかって対応が打てないので、公表じゃないと。ただ必要な情報共有はしていただくべきではないかという事を、これは勇み足ですけど国の方に問い合わせ、
にお願いをして、
とか
と合意できるだけ市町村に共有すべきだっていうふうな通知を出していただいたんです。それがやはり
にとってはお前は
にまでこういう事をチクリに行って、県に難癖をつけてくるのかっていうそういう捉えられ方だったので、そういう事ではないですっていう事は大分言ったんですけど、ただ心情は私としても、1回目に無茶苦茶になって、でももうこれはお話ししても仕方ないからもういいやと思って自分として静かにしようと思ったら、収まりきらなくてそれで呼出しを受けたんです。呼出しを受けて前の話のもうちょっと建設的な会話できるのかなと思ったら、まあ
とお二人で話を、うちの対応おかしいという事が、でもあの時はほとんど喋らなかったと思うんですけど。

：そうですね。あまり喋っておられなかったと。

管理者：もうそれまではまだ
がそういう人なんであって、ちゃんと理をつくして話せば一定通じてもらえるのかなと思ってたのを無理だっていう事を前回分かってたんで、もうあの時はほとんど喋らなかったんですが、それ以降ですね、天理市は個人情報に係わる法律違反のあらゆる濃厚接触者の情報を自分らによこせみたいな事言ってきたみたいな事を県議会の一通りの会派にパーっと仰って行って、後は各所で今まで非常によくしてやったのにこんなコロナの時にイチャモンつけてきてっていうトーンで仰る事があるので、それが多分色んな方の耳には届いてるかなと。

：なかなか難しな。

：あの時でそれは既に終わったって僕らは思ってたんです。
と
おられましたね。

管理者：いらっしゃいました。

：
かなり積極的にこう謝ってはったという印象があつて。

管理者：██████は取りなして下さってたんです。私も含めて市長会として一緒にやっていこうやという気持ちで来たんであって、別にこいつも言い方悪かったかしらんけどそういう意味じゃないですよみたいな事を凄く取りなしていただいていたんですけど。

：言うてたね。

██████：なかなか難しいのお。

██████：テレビに映ってた時の話ですか。

管理者：ああそうです、その後ぐらいです。

：あれいつ頃でしたっけ、6月7月。

管理者：3月です。

：3月ですか、そんな前やったけ。

██████：一番最初の時でんな。

██████：まだ██も元気やった頃やん。

管理者：だからやっぱりその街開きとか、今年っていうのはもの凄く創生案件で██自身の肝入りで花開くべき年だったのが、コロナで何もかもできなくなってしまったっていうお苛立ちと共に、最初の案件の時に騒がず何も表にも出さず静かにやる事によって押さえたとていう認識をお持ちだったので、それでまあ意見をしに行ってしまったという事なんですけども、それがずっと。

██████：そしたら管理者言うてはるみたいにちょっと当分成り行き見て、██やとか██やとかどういうふうの説明しはるのか分からんけど、その後やな、その後でどういう反応が出てくるか見て。

██████：我々以上に██やら██は██の性格分かるとるから、再度もの言いに行く時にはタイミング見て行くはずやから。

管理者：だからすぐには報告しないっていう事で今じっとしていただいています。

██████：██も瞬間湯沸かし器やから、昔のあの場面見たらもう分かるやん。未だに語り草やけど、そんなんガキと喧嘩する時あるがな、みんなの目の前でな。あれですわ、何かこう思い込んだらガーっとなりはるねん。うちの隣の市長の・・・水道であんな問題なったけど、となりの市長もしんどい言われてはんがな。

：ほんならちょっと当分様子見て又市長みんなで行かなあかんような場面あったら又。

管理者：すみません、もうご迷惑をおかけして申し訳ない。

：行く時ね、誰が行くとかいう事やなしにみんなで。

：みんなの方がいいですよ。

：せやけど、ここまで奈良モデルでやってきてな、何か知らんけどいっぺんに力抜けて何の奈良モデルやねん。

管理者：そう仰られたら、大事な案件なんで。

：も力抜けたんちゃうか。兵庫県の同級生、立候補しないで。いつもの事悪口言うてはるけど、あれやっぱり同期やから。

：もっと大きく包んでくれな。守ってくれな、奈良モデルにならんで。

管理者：すみません私不徳のいたすところでございますが、実質的な害が生じないように冷静に対応していく事が大事かと。

：まあ冷静になりましょ。

管理者：今日も遅くなって申し訳ない。

局長：奈良モデルはお持ち帰りいただいても大丈夫ですんで。

：ここで申し合わせしとくのは、に対してその事については触れないと、当分。顔合わす事ってよくありますがな。

：言うたんがな。

：言うたらあかん、言うたらあかん。

：我々からはもう言わへん。

：、しょうもない事でいちいち興奮してたらあきませんでって。

：一番言うたらあかん事。

：今ちょっと水道審議がちょっとマジになったんやから・・・。

: せやけどあの時どんなもんでしたか。こっちに■■■■とこっち■■■■、■■■■ここに座ってたんです。この上でこう立って喧嘩。

■■■■: お前はアホか、どっちがアホか勝負したろかって、その内に……。もうお前らと話しやんって自分の部屋に帰りはるねん。

: ■■■■、もう帰るって隣の部屋ですけどね。

■■■■: それ協力したん■■■■でっせ。

管理者: 何の案件でしたん。

■■■■: 各地域の色んな今後の課題。

: ■■■■が集まったんですよ。

管理者: ■■■■とかそういう具体的な案件じゃなくて。

: 色んな問題をね。

■■■■: ■■■■とか……。

管理者: ほんまに子供の喧嘩。

■■■■: あれもな、■■■■もしつこいんや。しつこいし■■■■にボロクソに言うでな、あれ。お前ら何してんねんとか、土地買収してほったらかしにしやがってとか散々言わはってん。

: なんせ■■■■を責めはったんで。

■■■■: うちから■■■■の駅に行く通りの河川改修と道路改修しはってんけど、これぐらいの歩道大きい車通らんように……。それが又気にいらんねんやん。それで要は■■■■の金、それは大方■■■■と■■■■といわゆる市域に用てるやないかと、郡とかに回してくれてへんやないかから、何やゴチャゴチャゴチャとなってやで。

: 文化財の補助金減らしはったんも……。つきやってみたいやね。補助金減らした言うて■■■■が怒りはってその後減らしてないって言わったっていう話、実際は減ってた。

■■■■: それともう1つは、今その話が復活してきたんで養成地で■■■■の持ち分ありますわね。そこに例のあの一戸見せを持って来たいという事で画描きはったんです。それは■■■■には何の相談もなかったという事でガーッと行きはって、これは取消してくれって可哀想に本人行かんと■■■■か■■■■呼んで、ほんでペケになって畑に代わった。畑が又今度合わ

んという事でもう一度原案に戻りつつあるんですわ。ほんで██████代わりましたからね、そういう経過のあるからもう何やかんやで██████とバトルでした。

██████：だから最近そんな会議の時でも██████やで、██████おらへんから冗談めいた話を機嫌よく喋りはる。

：そればかり言わはりますんやろ。

██████：1回あったんね、██████の選挙の時に██████来てくれはってずっと██████回らしてん。その次の引継ぎは██████やったんですよ。でね、ボタンタッチするところまで行ったら██████来てないと思ってたら来てはったんですよ。ほんで悪いけどもういつべん██████も一緒に回ってくれへんかって、それは無理ですって。

██████：それで乗った、乗ってへんやろ。

.....

██████：ほんでこないだあれやったんですよ、今居はらへんからええなー、今の██████ええなーって。

██████：そんなとこな子供みたいなどこあるでほんま。

██████：かないませんなあ。

██████：ほんま難しいわ。

：スイッチ入ったらね、1回。

：せやけどちょっと何やろ、この・・・制度自体は続くねんと。

██████：奈良モデル。

：奈良モデルは分からないですね。

：変わらへんとはっきり言うたやん。

管理者：見届けていただける方であればお願いします。

██████：県の制度でやっとなるから法に基づいてちゃう。なるかならへんかは別やけど。

██████：県の財政の問題もあるしね。

■：いつまでも出せる基金あるわけじゃないし。

：包括協定やら何やらうまい事作ってなあ。道の陳情に行ったかてやで、包括協定結んでへんだらあかんだら。

：せやけど■はな、この奈良モデルは自分の遺産にしようと思ってる。

：■に連行したいですわ。

：そうですね、合併しいひんかったらモデルっちゃモデルなんで。

■：せやからこれはやでもう■天下取ったような施策やこれは。これやったから日本全国で一躍有名になってやな。

：新聞書いてもうたよってね、社説で。

■：それを自分から潰しにかかるかちゅう話やで。

■：困らせたるネタを見つけはったよってに。

管理者：仰る通りです。

■：嫌になったこれ、そんなイチャモン、逆に我々そんなもんイチャモンつけられてたまったもんちゃうわ。

管理者：以上でございまして、本日は長々とすみません。全部オープンな資料なんで、すみません、ありがとうございました。

以 上